

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	『梵天国』奈良絵 解題・影印
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2007
Jtitle	三田國文 No.46 (2007. 12) ,p.55- 56
JaLC DOI	10.14991/002.20071200-0055
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20071200-0055

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『梵天国』奈良絵 解題・影印

石川 透

解題

『一寸法師』の奈良絵に続き、同じく御伽文庫二十三編の一つである『梵天国』の奈良絵を取り上げたい。『梵天国』の奈良絵本は、『一寸法師』ほど珍しくはないが、松本隆信氏「増訂室町時代物語類現存本簡明目録」(『御伽草子の世界』、一九八二年八月)には、二伝本(内一つは、挿絵欠)しか著録されていない。

しかし、二〇〇七年八月の丸善名古屋栄店における「奈良絵本・絵巻の魅力」に展示し、展示解説書に記したように、縦型奈良絵本の一枚の断簡が私の手元にある。

今回紹介する横型奈良絵本の断簡は、雰囲気からすると、御伽文庫本『梵天国』の挿絵と似ている。絵の裏の四周には、灰色の紙が付いている。おそらくは、この絵が灰色の紙に貼られていた時期があり、それを剥がした跡なのであろう。この灰色の紙は、比較的新しいのかもしれないが、一枚物の奈良絵はもちろんのこと、原装の奈良絵本の絵の裏にも、同じような剥が

し跡が存在することがある。

特に横型の奈良絵本には顕著なので、奈良絵本を作る工程において、奈良絵を何かに貼ることがあったのであろう。そのようなことも想起させるおもしろい例である。

本断簡の書誌は以下の通りである。

所蔵、架蔵
形態、奈良絵本、断簡二枚
時代、「江戸前期」写
寸法、縦一七・四糎、横二四・二糎
料紙、斐紙
本文、なし
奥書、なし

